
平成18年度第3回 音環境運営委員会 議事録(案) 記録：古賀

- A. 日 時 平成18年8月24日(木) 17時00分～19時00分
B. 場 所 建築会館304室
C. 出席者 平松友孝、坂本慎一、中澤真司、古賀貴士、赤尾伸一、岩瀬昭雄、岸永伸二、
中川 清、濱田幸雄、羽染武則、藤本一壽、福地智子、安岡博人、吉村純一(敬称略)
欠 席 者 井上勝夫、大鶴徹、河井康人、佐久間哲哉、佐藤哲身、吉久光一(敬称略)

D. 提出資料

No.3-0 H18年度第3回音環境運営委員会 議事次第

No.3-1 平成18年度第2回音環境運営委員会議事録(案)(中澤・坂本)

No.3-2 2006年度第2回環境工学本委員会議題(抜粋)

No.3-3 日本建築学会大会分類別投稿の見直し項目一覧(岸永)

No.3-4 日本建築学会大会細々分類 現案および改定案(平松)

No.3-5 日本音響学会騒音・振動研究委員会 今後の予定(藤本)

No.3-6 日本音響学会建築音響研究会 今後の予定(吉村)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.3-1)

・

2. 本委員会報告(資料No.3-2)

- ・ 2007年度大会は、8/29(水)～31(金)の3日間、福岡大学。
- ・ 特別研究委員会設置提案募集(06/11/15締切、3件程度採択予定)：分野横断型・ニューフロンティアで何かあれば是非応募を。
- ・ 中長期計画として新分野(分野横断型・ニューフロンティア)を開拓すべく体制づくりを考えている。
- ・ 2007年度大会準備日程 OS、PSの提案・梗概細分類表の変更締切(2006/11/30)、研究集会・環境工学シンポジウム等の企画案提案締切(2006/12/20)
オガナイズドセッションは環境工学部門の方向性を見せる重要なセッションなので有効に活用すべきである。(環境工学本委員会幹事団)
⇒オガナイズドセッションの案について次回本委員会(9/22)を目処に意見を募る。
最終締切までには時間があるので、時間をかけて議論したい。
- ・ 大会論文分類見直し：細分類、細々分類は、学問体系を示すものであり、別分野に同じ分類があっても構わない。投稿数が均等になるように決めるものでもない。(加藤委員長)
- ・ 代理講演は認めないことの確認 ⇒ビデオでの発表という方法もあるのでは？
- ・ 環境工学シンポジウム：大会時2年に1回、環境工学研究懇談会の形で開催の予定。次回は07年度に開催することとし、11月の環境工学本委員会で内容を決定する。
- ・ 研究懇談会のテーマ：案があれば、平松主査までメール(次回本委員会(9/22)まで)
⇒アカスタ、赤本関連などが考えられるかも。

3. 建築学会大会分類(資料No.3-3,4)

- ・ 2. 環境騒音の細分類は、調査・評価、予測・測定、騒音伝搬・対策 とする。
- ・ その他は、WGにて継続審議

・

4. アカスタアンケート

- ・ 赤本の改訂は必要だというのが回答の過半を占める。たとえば五年ごとに継続的に改訂という意見などあり。詳細は、次回議論したい。

4. 小委員会・WG活動報告

○音響数値解析小委員会(坂本幹事代理説明)：

- ・ ベンチマーク問題の解析を個々に実施中。第二回を9月12日に開催予定。

○固体音小委員会(平松主査)：

- ・ ボールの適用を検討している。適用に当たっては、床衝撃音の心理評価実験を行うことが重要であるので、そのための検討も並行して進めている。
- ・ 設備機器固体音検討WG：加振力データの整理、実務で使う予測データの整理など実施中